



シネラ・ニュース
October.2002 No.75



特
集

マキノ雅弘 監督特集



『鴛鴦歌合戦』イラスト:花野孝史

特別企画

日中国交正常化30周年記念
2002年「日本年」「中国年」

30年代 輝ける上海映画

特 集

佐藤真 監督特集

特別企画

福岡市民芸術祭協賛

第10回 福岡映像コンテスト

10

特集

マキノ雅弘監督特集

マキノ雅弘は「日本映画の父」といわれる牧野省三の長男として1908年、京都に生まれた。本名、牧野正唯、ペンネームは正博、雅弘、雅裕、雅広と4度改名している。4歳の頃から父・省三が所長をつとめる日活京都撮影所で子役として映画出演。省三が独立して映画会社(牧野教育映画、のちマキノプロダクション)を設立した後は、父を助け、俳優や助監督の他、あらゆる仕事をこなしている。18歳で初監督、1928年、20歳のときに監督した「浪人街」は、当時としては画期的ともいえるリアルな群像劇として无声時代劇の名作となった。以後、様々な映画会社を渡り歩きながら、時代劇、ミュージカル、任侠映画など娯楽映画を中心に数々の映画を手掛け、職人的巨匠と呼ばれた。1993年死去。生涯監督作品数261本にものぼる。

2日(水) 14:00
4日(金) 14:00



監督：マキノ正博
出演：片岡千恵蔵 市川春代

2日(水) 19:00
5日(土) 11:00



監督：マキノ正博
出演：長谷川一夫 山田五十鈴

3日(木) 14:00
6日(日) 11:00



監督：マキノ雅弘 脚本：黒澤明
主演：月形龍之介 市川右太衛門

3日(木) 19:00
6日(日) 15:00



監督：マキノ雅弘 脚本：伊藤大輔
出演：大河内伝次郎 河津清三郎

4日(金) 19:00
5日(土) 15:00



監督：マキノ雅弘
出演：鶴田浩二 藤純子

会期：2日(水)～6日(日)

観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制。※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の呈示が必要です。)

主人公であるひたすら能天気でモテモテの貧乏浪人役の片岡千恵蔵はもとより、その恋人の父親役の志村喬また歌いだすという時代劇ミュージカルの傑作。貧乏浪人の礼三郎は長屋の隣に住むお春と恋仲だが、礼三郎に恋心を抱く娘が他にも二人いて気が気がお春に一日惚れ、お春の父にお屋敷を差し出すように命ずるが…。

ダーシル・ハメントの推理小説「なき男」を原案とする時代劇では珍しい本格的な推理物。舞台を長屋に設定し、探偵役に遠山の金さきをあてている。薄情者で住人から嫌われていた裏長屋の大冢勘兵衛が何者かに殺された。長屋の住人で日頃から勘兵衛を恨んでいた文吉、借金があつた浪人、篠崎が疑われるが…。

長谷川幸延の原作を黒澤明が脚色した芸道物。大正時代、歌舞伎の「天保六歌舞撰」に始した沢田正二郎は、一座の殺陣の創作を依頼する。しかし無学な段平はリアリズムを理解できず、沢田と決別し生活はどん底になるが、一生を殺陣の創作でに捧げる。

子母沢寛の新聞連載小説が原作の娯楽時代劇。もとは歌舞伎の「天保六歌舞撰」にあられる内山宗俊が金子市之丞の難儀を救うというもので、歌舞伎界で活躍する。しかしマキノ、伊藤がに強力で、娯楽時代劇の醍醐味が随所に冴え渡る。

大正時代、北九州で石炭船の船頭によつて忠義の行動によって信望を集め、後に代議士として中央政界でも活躍した吉田穏吉。この映画は侠客代議士と呼ばれた彼の若き日を描いた任侠映画である。また藤純子が扮した磯吉の危機を救う者、お童はのちに藤の当たり役となつた絆牡丹お童の原型といわれている。

鴛鴦歌合戦

1939年 / 35ミリ / モノクロ / 69分 / 日活

昨日消えた男

1941年 / 35ミリ / モノクロ / 89分 / 東宝

殺陣師段平

1950年 / 35ミリ / モノクロ / 104分 / 東横映画

すつ飛び駕

1952年 / 16ミリ / モノクロ / 98分 / 大映

日本大侠客

1966年 / 35ミリ / カラー / 95分 / 東映

特集

佐藤真監督特集

佐藤真監督は、若手ドキュメンタリストとして最も期待されている監督の一人です。佐藤監督は57年青森県に生まれ、東京大学卒業後、「無事なる海 - 1982年 水俣」に助監督として参加。その後88年から「阿賀に生きる」撮影の準備に入り、92年に「阿賀に生きる」を完成。芸術祭選奨文部大臣新人賞等を受賞し、一躍注目を浴びます。96年には(有)カサマフィルムを設立し、テレビ作品や映画の編集・構成、映画祭のプロデュースなど多角的に活動し、98年には監督第二作「まひるのほし」を完成させます。2000年には監督第3作「SELF AND OTHERS」、2001年には監督第4作「花子」を完成とコンスタントに作品を発表しています。

若手ドキュメンタリストとして活躍する佐藤真監督の作品特集

25日(金) 14:00 26日(土) 15:00

阿賀に生きる



監督：佐藤真

尾瀬を源流として日本海に注ぐ阿賀野川。新潟水俣病の舞台となったこの川沿いに、監督を含む7人のスタッフが住み着き、川に生きる人々の生活と水俣病についてドキュメンタリーを撮り始める。この作品はスタッフと村人との3年間に及ぶ交流の記録である。

1992年 / 16ミリ / カラー / ドキュメンタリー 116分 / 阿賀に生きる製作委員会

26日(土) 11:00 27日(日) 15:00

SELF AND OTHERS



監督：佐藤真

1983年に36歳で早世した写真家・牛腸茂雄。彼が撮影した写真と草稿、手紙などをたどり、牛腸茂雄の生涯を描き出すドキュメンタリー。しかしこの映画はそれにとどまらず、彼が写真で描こうとしたものを、映画として表現しようとしている。

2000年 / 16ミリ / カラー / ドキュメンタリー 53分 / ユーロスペース

会期：25日(金)～27日(日)

観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の呈示が必要です。)

25日(金) 19:00 27日(日) 11:00

まひるのほし



監督：佐藤真

7人の、障害を持つアーティストを記録した作品。登場するのは独創的な絵を描くシュウちゃん、陶器つくりを行うヨシヒコさん、女の子が大好きなアーティストのシゲちゃんなど。さわやかな感動を与える作品。

1998年 / 16ミリ / カラー / ドキュメンタリー 93分 / シグロ

12日(土) 17:00
17日(木) 19:00

麻瘋女



14日(月・祝) 14:00
18日(金) 13:00

木蘭從軍



清朝中期の湖南での物語。ある青年が勧められて美しい娘と結婚する。ところが娘はハンセン氏病であり、両親は病気を他人にうつせば直るという迷信を信じて結婚をさせたのだった。しかし娘は青年を愛し、実真相を告げ、両親をだまして青年を田舎へ帰すのだった。怪奇映画「夜半歌声」で有名な馬徐維邦監督作品で、本作も怪奇的な設定をうまく使った恋愛ドラマとなっている。

監督：マーシュイ・ウェイパン(馬徐維邦)
出演：タン・イン(談瑛) メイ・シー(梅熹)

1939年 / 35ミリ / モノクロ / 100分 / 中国 / 日本語字幕付き

唐の時代。ある村に花木蘭という少女がいた。木蘭は男のように育てられ、武芸に長じていた。ある時国境に北狄の軍が進入、木蘭は父に代わって、男装して戦に赴き、武勲を立てた。その頃、敵の将校が投降して、軍は戦意を失っていると報告。しかしこれは敵の奸計であった。それを知った木蘭は女装して敵地に潜入する。京劇のレパートリーとしても有名な物語を映画化したもので、映画として表現しようとしている。

監督：ブー・ワンツァン(ト萬蒼)
出演：チェン・ウンシャン(陳雲裳) メイ・シー(梅熹)

1939年 / 35ミリ / モノクロ / 94分 / 中国 / 日本語字幕付き

9日(水)16:00
18日(金)19:00

野ばら



1930年に国産映画の復興と改革を目的に設立された聯華影業公司の第三作で、聯華の現存する最古の作品である。孫瑜監督としては五作目にあたる。社会の矛盾と愛國に目覚めた貧しい少女が、東北義勇軍に参加するまでを描いた作品で、後年「銀幕の女王」と称された王人美が17歳で初主演を演じた作品である。※本作はサイレント映画です。

監督：スン・ユイ（孫瑜）

出演：チン・イエン（金焰） ワン・レンメイ（王人美）

1932年/35ミリ/モノクロ/サイレント/111分/中国/日本語字幕付き

10日(木)14:00
13日(日)14:00

女児経



ある富豪夫婦の家に双十節を記念して昔の女学校の仲間があつまり、卒業後の自分たちの生活について語るという作品。明星影片公司のオールスター・キャストによるオムニバス映画であり、国民党の新生活運動宣伝である「生活の質素」「衣服の質素」をアピールしている。しかし国民党政府への批判、新生活運動への風刺の色合いが強く、監督たちによる抵抗の映画といえる。

監督：リーピン・チエン（李萍倩） チョン・ブーカオ（程歩高） カオ・スープファン（姚蘇鳳） ウー・ツン（吳村） チェン・ケンラン（陳遵然） シン・シーリン（沈西苓） シュイ・シングフ（徐欣夫） チョン・チヨンチウ（鄭正秋） チャン・シーチュアン（張石川）

出演：フー・ティエ（胡蝶） カオ・チャンフェイ（高占非）

1934年/35ミリ/モノクロ/サイレント/167分/中国/日本語字幕付き

10日(木)19:00
13日(日)11:00



上海に父親と共にやってきた林瓊は、女学校に入学する。女学校の校長は、学校の名譽のため新記録の達成を体育教師に命じていた。林瓊は、猛練習の結果、数々の記録をうち立て、学校の人気者になる。スポーツ万能で、歌舞團で踊り子もしていた黎莉莉が主演しており、彼女の天性の明るさと魅力が溢れる作品となっている。上海映画のモダニズムを強烈に感じる作品である。※本作はサイレント映画です。

監督：スン・ユイ（孫瑜）

出演：リー・リーリー（黎莉莉） チャン・イー（張翼）

1934年/35ミリ/モノクロ/サイレント/89分/中国/日本語字幕付き

11日(金) 13:00
14日(月・祝) 11:00

新女性



上海で音楽教師をしながら女流作家を目指している韋明は、ある日音楽学校の理事長に結婚話を持ちかけられるが断ってしまう。このため韋明は学校を辞めさせられてしまい、その後、娘が肺病にかかってしまう。ついに彼女は理事長の一晩の奴隸になることを決意するのだが。1930年代の最大のスター女優・阮玲玉主演の作品だが、阮玲玉の実生活も本作と酷似しており、35年の3月に彼女は25歳で自殺することになる。

監督：ツァイ・チューション（蔡楚生）

出演：ルアン・リンユイ（阮玲玉） ワン・モーチウ（王默秋）

1935年/35ミリ/モノクロ/サウンド版/109分/中国/日本語字幕付き

11日(金)16:00
19日(土)14:00



上海のあるアパートには6世帯の人々が住んでいた。大家である呂、売れない小説家の陳、5人の子供がいる范、踊り子の俞と孫、紡績工場に勤めているふりをしている袁、銀行の運転手をしている唐で、いずれも不景氣のため苦しい生活をしていた。世界大恐慌が吹き荒れる上海を舞台にして、当時の中国の下層社会を描いた作品。上質な喜劇映画であり、中国民衆のおおらかさとしたかさが見事に表現される。

監督：チョン・ブーカオ（程歩高）

出演：ワン・シエンチャイ（王獻齋） シュー・シウウェン（舒繡文）

1936年/35ミリ/モノクロ/107分/中国/日本語字幕付き

11日(金)19:00
19日(土)17:00

生死同心



1926年。政治犯が入れられている監獄で火災が発生し、その騒ぎに乗じて李は脱走する。その頃東南アジアの仕事から帰ってきた柳は、恋人の玉華と過ごしている所を警官に取り押さえられてしまう。柳は李とそっくりだったので、そして柳は無期懲役の判決をうけてしまう。袁牧之が一人二役を演じており、政治的な主題の中にもスリルとサスペンス溢れる展開が目を引く。

監督：イン・ユンウェイ（応雲衛）

出演：ユー・コアンチャオ（尤光照） ユアン・ムーチー（袁牧之）

1936年/35ミリ/モノクロ/97分/中国/日本語字幕付き

12日(土)11:00
17日(木)13:00

慈母曲



夫婦には男4人と女2人の子供がいた。子供たちは成長して長男は医者になった。みんなは独立や結婚で家を出ていったが、三男だけが残り農作業をしながら両親の面倒を見ていた。ある日父が金ほしさに泥棒を働き、三男が身代わりに留置所に入る。父の死後、出所した三男は都会で働き、母親を長男に任せるが、長男は母親を冷たく扱うのだった。アメリカ映画「オーバー・ゼ・ヒル」を中国に置き換えて作られた作品。

監督：チュー・シーリン（朱石麟）

出演：リン・チューチュ（林楚楚） コー・ツオチー（葛佐治）

1937年/35ミリ/モノクロ/118分/中国/日本語字幕付き

12日(土)14:00
17日(木)16:00

情天血涙



学生の李は、向かいに住む女学生の楊と恋に落ちるが、父の命令で上海の大学に行くことになり、一方楊は、やはり父の命令で著名な作家と一緒に結婚させられてしまう。その後貿易会社に就職した李は、二児の母親となつた楊と再会する。そして二人は駆け落ちしてしまう。35年に設立された新興会社・新華影業公司による作品。上海映画の一つの典型をなす一大メロドラマであり、涙なしには見られない「鴛鴦蝴蝶派」映画の代表作。

監督：ブー・ワンツァン（卜萬蒼）

出演：ユアン・メイユン（袁美雲） チン・イエン（金焰）

1938年/35ミリ/モノクロ/145分/中国/日本語字幕付き

特別企画

日中国交正常化30周年記念
2002年「日本年」「中国年」

30年代輝ける上海映画

1930年代、無声映画からトーキーへ移り変わる頃の古典的中国映画の傑作を上映

戦前の中国・上海は映画の都であり、中国映画の最初の黄金時代を築く華々しい作品が生まれていました。上海モダニズムを体現する孫瑜監督と、孫瑜監督とぴったりのコンビを見せる女優の黎莉莉、怪奇幻想の作家馬徐維邦、そして30年代の伝説の女優・阮玲玉など、その素晴らしさは国際的にも高く評価されるものでした。今回の上映は、日中国交正常化30周年記念として行われるもので、中国映画の歴史と素晴らしさを紹介するものです。また併せて刈間文俊教授の講演会も開催、中国映画の魅力を語っていただきます。

会期：9日(水)～19日(土) ※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制。※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。※福岡市在住の障害者の方、及び福岡市在住の65才以上の方は300円。(手帳の呈示が必要です。)

主催：福岡市総合図書館 東京国立近代美術館フィルムセンター 協力：中国電影資料館

講演会

1930年の上海ニューウェーブ

東京
合
文
學
化
研
究
院
科
教
授

刈間文俊



77年東京大学文学部中国語中國文學科卒業。83年同大学大学院人文科学系研究科中國語中國文學専門課程博士課程退学後、同大学文学部助手となる。同大学助教授を経て、96年より教授となる。著書に「上海キネマポート」(共著 凱風社)「もっと知りたい中国II—社会・文化編」(共著 弘文堂)訳書に「私の紅衛兵時代—ある映画監督の青春」(講談社現代新書)などがある。またフィルムセンターにおける「中国映画回顧展」のコーディネートや、中国映画「黄色い大地」(84年 陳凱歌監督)の字幕翻訳など、多方面で活躍。

14日(月・祝)
15:45～16:45

※講演会は有料制で、料金は当日の「木蘭從軍」の観覧料に含まれます。講演会だけの入場でも同じ料金です。

9日(水)13:00

18日(金)16:00

紅い剣士



1928年からブームとなった武侠映画の典型を示す数少ない残存作品。盗賊に村を襲われて孤児になったヒロインが、山奥で仙人に育てられて武芸を教わり、ついに宿敵を打倒するまでのを描く。香港のカンフー映画の原型ともいえる作品。

※本作はサイレント映画です。

監督：ウエン・イーミン（文逸民）

主演：ファン・シエボン（范雪朋） チュー・シャオチュアン（朱少泉）

1929年/35ミリ/モノクロ/サイレント/149分/中国/日本語字幕付き

9日(水)19:00

19日(土)11:00

怪奇猿男



怪奇と幻想趣味の作風で独自の世界を築き上げた馬徐維邦監督の、現存する最古の作品。ある富豪令嬢に横恋慕した男が、あたかも類人猿の仕業であるかのようなトリックで彼女を誘拐する。奇想天外な物語である。※本作はサイレント映画です。また欠落部分がある不完全版です。

監督：マーシュイ・ウェイバン（馬徐維邦）

出演：ワン・モンフェイ（王夢飛） ユアン・イーチュン（袁益君）

1930年/35ミリ/モノクロ/サイレント/77分/中国/日本語字幕付き

漁光曲



貧しい漁村に生まれた双子の兄妹が、両親の死後も社会の矛盾に抗して生きる姿を描いた本作は、同名の主題歌と共に3ヶ月のロングランを記録。公開翌年にはモスクワ映画祭で「名誉賞」を受賞し、国際的に認められた最初の中国映画として知られる。社会主義リアリズムの作風が特徴の蔡楚生監督の出世作。※本作は欠落部分がある不完全版です。欠落部分は字幕で補われています。

監督：ツァイ・チューション（蔡楚生）

出演：ワン・レンメイ（王人美） ハン・ランケン（韓蘭根）

1934年/35ミリ/モノクロ/サウンド版/58分/中国/日本語字幕付き

特別企画

第10回

福岡映像コンテスト

主催：福岡映像協会

共催：福岡市総合図書館

会期：20日(日) 表彰式(10:00~) 発表上映会(13:00~)

観覧料：無料

福岡市民芸術祭協賛

シネコラム

ガメラよ永遠に！

のである。私の住んでいる付近には外国人はいなかったので、違和感を覚えた。外国人を出演させるのは、監督の好みなのかなと思いながら、外国人の人と仲良くしなければならないんだというメッセージかなとも思っていた。

年1回製作されていたガメラ映画も映画産業の衰退とともに、質が悪くなっていた。なぜか水着になつて走る女性の宇宙人も出てくるし、作りが安っぽくなっていく。

1年間も待っていたのにと、割り切れない気持ちで映画館を後にすることもあった。そうして、大映の倒産。ガメラ映画とともに、私の子ども時代は終わつた。

平成になって、新ガメラシリーズが公開された。新ガメラの顔・姿は旧作に比べて怖くなっていた。自衛隊の動きもリアルで、広報映画みたいだ。ガメラマーチもなかつた。

ゴジラ映画と比べると、接近戦のシーンが多く、セット代をけちつたのかなと思つたりした。大人の鑑賞を意識したのか、理屈づけが多くて興ざめた。

しかし、ガメラ映画をまた観られたのは、うれしかつた。敵にやられてもやられても耐え続け、最後に勝つという基本パターンは踏襲されていたし、ガメラの勇姿をまた映画館で観られる。

でも3作品公開されただけで終わつてしまい、今後も製作の予定はないようだ。平成ガメラシリーズの監督もゴジラ映画を撮っているし、もう2度と新作はないのかもしれない。

最近は、ビデオでその当時のガメラ映画を観ることはできるが、その時、映画館で観た感動はわいてこない。やはり映画というものは、映画館で観るべきものなのだろう。

ガメラよ永遠に!!!

映像資料課 繁竹健司

インフォメーション

シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成14年11月号～平成15年3月号までの郵便切手(90円×5カ月)を同封の上、下記宛先へお申し込みください。

宛先：〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1
福岡市総合図書館 映像資料課



ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用はアナログ3時間迄、ノンリニア4時間迄)

※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザインワークス/VOW OFFICE co.,ltd. 印刷/松古堂印刷株式会社

R30 古紙配合率80%再生紙を使用しています。

「マキノ特集」の『昨日消えた男』『すつ飛び鶯』『日本大侠客』はニュープリントです。「上海映画特集」は東京国立近代美術館フィルムセンターとの、開館7周年にして初めての共催。職員一同身の引き締まる思いです。今回見逃すと福岡での再びの鑑賞は困難な中国映画の古典をご堪能ください。(H.M.)

編集雑記

10月

上映スケジュール

1 火

休館日

マキノ雅弘監督特集	2 水	14:00 鶯鳴歌合戦	19:00 昨日消えた男
	3 木	14:00 殺陣師段平	19:00 すつ飛び鶯
	4 金	14:00 鶯鳴歌合戦	19:00 日本大侠客
	5 土	11:00 昨日消えた男	15:00 日本大侠客
	6 日	11:00 殺陣師段平	15:00 すつ飛び鶯

7 月

休館日

8 火

休映日

30年代輝ける上海映画	9 水	13:00 紅い剣士	16:00 野ばら	19:00 怪奇猿男/漁光曲
	10 木	14:00 女児経	19:00 スポーツの女王	
	11 金	13:00 新女性	16:00 上海、昨日今日	19:00 死生同心
	12 土	11:00 慈母曲	14:00 情天血涙	17:00 麻瘋女
	13 日	11:00 スポーツの女王	14:00 女児経	
	14 月祝	11:00 新女性	14:00 木蘭從軍	15:45 講演会

20 日

第10回福岡映像コンテスト

21 月

休館日

22 火

休映日

23 水

休映日

24 木

休映日

佐藤真監督特集	25 金	14:00 阿賀に生きる	19:00 まひるのほし
	26 土	11:00 SELF AND OTHERS	15:00 阿賀に生きる
	27 日	11:00 まひるのほし	15:00 SELF AND OTHERS
	28 月	休館日	
	29 火	休映日	
	30 水	休映日	

31 木

月末休館日



交通アクセス：当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
地下鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分
西鉄バス：天神～都市高速経由～福岡タワー南口 (所要時間 15分)
博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口 (所要時間 20分)
福岡タワー南口バス停から徒歩3分
いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。
お近くのバス停のご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

「マキノ特集」の『昨日消えた男』『すつ飛び鶯』『日本大侠客』はニュープリントです。「上海映画特集」は東京国立近代美術館フィルムセンターとの、開館7周年にして初めての共催。職員一同身の引き締まる思いです。今回見逃すと福岡での再びの鑑賞は困難な中国映画の古典をご堪能ください。(H.M.)